

## 2014 年度卒業研究第二回中間発表会の開催について

4 回生担任 小野奈々

## 1. 発表会

- ・日時： 2014 年 9 月 25 日（木）10:40～16:20  
2014 年 9 月 26 日（金）10:40～16:20
- ・場所： 両日とも交流センター研修室 1～3
- ・発表時間：発表は、一人 5 分間、質疑応答と助言をその後の 5 分間とし、一人あたり計 10 分とする。発表時間を厳守すること。
- ・発表の内容：発表要旨と同様の内容を簡潔に発表すること。

## 2. 発表要旨

指導教員より発表を許可された者は、2014 年 9 月 22 日（月）10:00～12:00（厳守）に、指導教員が押印した「卒業研究第二回中間発表 許可書」とともに発表要旨を学科控室（B2-209）に提出する。分量は A4 横書き 2 枚（片面モノクロ印刷）とし、書式は次の通り（学科 HP に掲載している。ダウンロードして使用すること）。

<最初の書式設定>

\* MS-Word で、まず次の設定にする。

- ・段組 1 段（デフォルト）
- ・字体・サイズ MS 明朝+Times New Roman, 10 pt
- ・文字数・行数 48 文字×50 行, 字送り 10 pt, 行送り 14.55 pt
- ・余白 上下左右とも 20 mm
- ・本文 行間 1 行（デフォルト）
- ・ページ番号 つけない

<要旨全体の注意>

- \*英数字は半角とする（後出の大項目の項目番号のみ全角）。
- \*句読点は、「.」と「,」（全角）を用いる。
- \*提出前に必ずモノクロ（白黒）で印刷し、判読できない箇所（図表含む）がないことを確認すること（カラーなら判読できるが、モノクロ印刷では判読できない場合があるので）。

<タイトルと氏名等の書式>

- \*1 行目の中央に、タイトル（MS ゴシック+Arial, 12 pt）、サブタイトル（MS ゴシック+Arial, 11 pt）
- \*2 行目の右端に 研究室名・学籍番号・氏名（MS 明朝, 10 pt）を記載。
- \*1 行あける。

<本文の書式設定>

- \*段組を 2 段に変更（境界線は引かない）。このとき、
  - ・文字数・行数 23 文字×50 行, 字送り 10 pt, 行送り 14.55 pt とする。
- \*本文は、2 段組で記述する（段の幅 23.03 字, 間隔 2.13 字）。
- \*以下、次の大項目の順番に記載
  1. 背景・論点
  2. 研究の目的・意義
  3. 研究方法
  4. 前回発表以降の進捗状況
  5. 今後の予定
  6. 参考文献
- \*大項目は 10 pt の MS ゴシック+Arial, 項目番号は全角にして、直前を 1 行あける。
- \*中項目が必要な場合は、(1), (2), (3)などとし、さらに小項目が必要ななら、1), 2), 3)などとする。ともに 10 pt の MS ゴシック+Arial にする。
- \*図表は次のように記載する。

- ・前後を 1 行あける（本文との区別を明確にするため）
- ・キャプション（図表タイトル）は、表は上につけ、図は下につける。
- ・キャプションの図表番号は、図 1, 図 2, 表 1, 表 2 と、9 pt の MS ゴシック+Arial にする。
- ・キャプションの本文は、9 pt の MS 明朝+Times New Roman にし、本文と切り離してもそれだけで意味が通じるようなものにする。
- ・本文中の図表は原則としてページをまたがらないこと。止むを得ずページをまたがる場合は、

分割して、それぞれのページの図表にキャプションと項目名を付けること。

- ・図表の大きさは、2段組か1段組のどちらかとする（1段組にした場合に、余白に本文を記載しない）。

\*参考文献の引用について

本文中の引用箇所の右肩に右片括弧つき数字で1/4角により引用文献番号を表示すること。

例： 文献の引用を記した様式<sup>1),2),3)</sup>についてはいろいろなものが……

引用文献リストは「6. 参考文献」に、9 pt の MS 明朝+Times New Roman で記載すること。形式は、次のようにする。

雑誌	引用番号 著者名：引用論文表題，掲載誌名，巻(号)，ページ (発行年)
例	1) 江州滋男：文献の引用に関する研究，文献図書科学，36(11)，pp.225-229 (1930) 注意 1) 著者名の姓と名の間にはスペースを入れない。(アルファベットの場合は除く.) 注意 2) 年代を囲む( )は半角，Times New Roman. 以下，全て同様. 2) T. Hidaka: Referring References, <i>Book Sciences</i> , 28(4), pp.1305-1309 (1945) 注意) 共著者が2名のときは2名を「,」区切りで記し，3名以上のときは第一著者名・他，または"Author et al."と記載する(著者名に関しては以下，同様). またページは単数ページの引用が "p.220", 複数ページの引用が "pp.220-223".
単行本	引用番号 著者名：書名，引用ページ，発行所 (発行年)
例	3) 江州滋男：文献の利用法，pp.229-233，県大出版会 (1999) 4) T. Hidaka: <i>How to Use References</i> , pp.215-219, Academic Press (1998) 5) 近江太郎：引用文献の表記法に関する研究，滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 2012 年度卒業論文(2013)
編書論文	引用番号 著者名：引用論文表題，編者名編：書名，引用ページ，発行所 (発行年)
例	6) 長浜滋彦：環境問題の未来と社会変動，長浜滋彦・木本マキ編：講座社会学 12 環境，pp.191-224，東京大学出版会 (1998)
事典類	引用番号 書名，発行所 (発行年)
例	7) 平凡社百科大事典，平凡社 (1990)
新聞記事	引用番号 新聞社名 (支社)，日付，第何面
例	8) 読売新聞 (滋賀)，2001-02-07，夕刊 17 面
私信等 (電子メール，手紙，電話，会話などで個人的に入手した情報の場合)	引用番号 相手名，日付，種類 (私信，電話，会話など)
例	9) 大津次郎：1998-12-08，電子メール 注意) 個人のメールアドレスは掲載しないこと。 10) 大津次郎：1998-12-08，電話
Web サイト	引用番号 サイト運営 (作成) 者名：ページ (記事) タイトル <URL>，情報入手日
例	11) 地球環境情報センター：環境保全に関する調査研究活動メンバー< <a href="http://www.geic.or.jp/choco2/member.html">http://www.geic.or.jp/choco2/member.html</a> >，2002-11-07 注意 1) URL には下線はつけない。ページ (記事) タイトルとは html の<title>に相当するもので，ブラウザのタブ上部に表示される。 注意 2) 電子ジャーナルや政府の刊行物など，Web 上にもあるが図書として出版されているものは，Web サイトとして引用するのではなく，刊行物として引用し，該当する文献の書式で掲載する。

### 3. 発表用電子媒体の提出

発表用の PowerPoint ファイルは、ゼミごとに USB メモリーあるいは CD など電子媒体に収録し、B2-209 室へ持参すること。提出日時は 2014 年 9 月 24 日 (水) 13:00~15:00 (厳守) とする。なお、ソフトとしては MS PowerPoint 2013 を用意する。

提出するファイルには、ファイル名 (学籍番号 氏名 報告会略称) をつけること。

Ex. 1112059 近江太郎 中間 2

### 4. 発表順序

別紙のとおり。

就職活動等のやむを得ない理由を持つ学生は、事前に指導教員を通じて 4 回生担任まで可能な発表日と時間帯を申し出ること。